

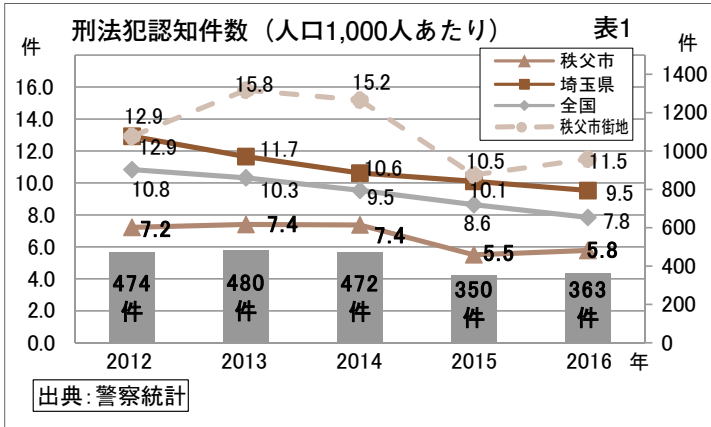


最近の市内犯罪状況

セーフコミュニティちちぶ

秩父市の犯罪件数人口（千人当たり）は、全国・埼玉県に比べて少なく、また、近年減少傾向にあります。

しかし、中心市街地（宮側町・東町・番場町・上町・中町・本町）の犯罪発生率は、全国・埼玉県に比べて高い状況にあり、犯罪件数も年間350件以上発生しています。【表1】



次に、最近3年間の「市内犯罪発生状況」ですが、警察統計から見ると、多い順に①自転車盗②万引き③侵入盗の順になっています。

①自転車盗は、駅などの駐輪場やその周辺で多く発生しており、スポーツタイプの高価な自転車は特に注意が必要で、自宅敷地内においても狙われます。また、盗難自転車の6割以上が無施錠であり、施錠の徹底とともに、簡単に盗まれないための二重ロックが必要となっています。二重ロックとは、通常の施錠の他、クサリ錠やワイヤー錠で施錠をすることです。これにより、鍵を壊す時間が倍増するため、犯罪の発見につながり、自転車泥棒のやる気を損なう効果があります。

③侵入盗は、国際認証取得後、件数が大きく減少しています。しかし、昨年実施したアンケートでは、自宅在宅中（就寝時以外）は無施錠の方が多く、犯罪件数を少なくしていくために、引き続き在宅中における鍵かけが求められています。

次に、最近3年間の「中心市街地犯罪発生状況」ですが、警察統計から見ると、①自転車盗②万引きが多くなっています。①自転車盗は、前述したとおりの状況であり、②万引きは、高齢者の方が多くなっています。なお、犯罪防止のポイントとして、犯罪者が犯行を諦めた理由では、①近所の人に見られた②ドア・窓に補助錠があつた③犬を飼っていた④警備システムがあつた⑤防犯カメラがあつたなどであり、犯罪者は人や機械の目というものを常に意識します。こうしたことから、セーフコミュニティ犯罪の防止対策委員会では、防犯パトロールの推進とともに、防犯カメラの設置、街路灯・防犯灯の整備を、町会や商店連盟と連携しながら行いました。

また、最近では、格安（1万円台）の防犯カメラも発売され、自宅に設置する方が増えており、事件があつた場合にその映像を提供し、地域の防犯にご協力いただいているケースもあります。侵入盗や万引き犯など多くの犯罪は、市民の皆さん一人一人の力がその行為を抑制する手立てであり、地域の目が重要となります。引き続き、皆さんのご協力をお願いします。

最後に、最近の「はがきを使用する詐欺」についてです。この詐欺は、発送元が公官庁となっている「訴訟はがき」が自宅に郵送され、この連絡先へ電話すると、コンビニの電子決済払いなどでお金をだまし取られるというようものです。次のようなはがきが来たら、連絡先には絶対電話せず、秩父警察署（吉田にあつては小鹿野警察署）へ連絡してください。



市内に届いている「ハガキ」

セーフコミュニティ犯罪の防止対策委員会では、市民の皆さんのご協力をいただきながら、今後も「安全・安心なまち」を目指し犯罪の芽を摘む運動を実施してまいりますので、ご理解・ご協力をお願いします。

問 危機管理課 ☎22-2206